

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

猿払村まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道宗谷郡猿払村

### 3 地域再生計画の区域

北海道宗谷郡猿払村の全域

### 4 地域再生計画の目標

本村の人口は昭和 30 年をピークに減少しており、2,684 人（平成 27 年国勢調査結果）まで落ち込んでいる。猿払村人口ビジョンの独自推計では、2060 年には 2015 年比で総人口が約 73%となる見込みである。

自然増減数（出生－死亡）と社会増減数（転入－転出）においては、社会増減数のマイナスが大きく、本村の人口減少は社会増減の影響を強く受けている。

本村では、10～14 歳から 15～19 歳になるときに大幅な転出超過となっている。これは本村に高校が無いため、進学に伴う転出の影響が考えられる。加えて、20～30 代の転出入については、転入超過の数が少なく、I ターンやU ターンなどの転入が少ないことが考えられる。さらに、65～69 歳で転出超過が見られ、退職に伴い本村を離れてしまう状況がわかる。以上のことから、基幹産業である水産業と酪農業は安定した経営がなされているものの、事業所数の減少などによる雇用機会の減少していることと、65 歳以上の転出が人口減少の原因と考えられる。

出生に関する状況は、全国や北海道と比較して合計特殊出生率の数字が高い状況で推移している。特に、結婚している女性が生む子どもの数はやや増加している傾向がある。一方で人口減少に伴い、子どもを産む世代が減少していることや、男性女性ともに未婚率が上昇している状況もある。

こうした人口減少は、基幹産業である水産業・酪農業の深刻な担い手不足、高齢化を引き起こし、漁業・農業所得や生産性が低下するなど、地域経済の衰退を引き起こす可能性がある。

これらの課題に対応するため、以下の事項を本計画の基本目標に掲げ、結婚・妊娠・出産、子育て環境の充実を図り自然増につなげる。また、観光施策等を展開す

ることにより、関係人口を創出するほか、移住定住につなげていくとともに、新たな産業の創出、高齢者が活躍できる場の創出、医療制度の充実等を図ることで、誰もが住み続けられるまちづくりを推進し、人口の社会減に歯止めをかける。

- ・基本目標 1 猿払の産業の維持・発展により雇用を創出する
- ・基本目標 2 猿払ならではの魅力を活かして、人を惹きつけ人を呼び込む
- ・基本目標 3 結婚・出産の希望をかなえ、猿払で安心して子育てができる環境をつくる
- ・基本目標 4 村民だれもが猿払で豊かに暮らすことができる環境をつくる

### 【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時 点)	目標値 (2024 年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	村内就業者数	1,568 人	1,600 人	基本目標 1
イ	移住体験住宅利用件数	7 件	10 件	基本目標 2
イ	移住者数 【村の調査】	1 期 2 人	2 期 10 人	基本目標 2
イ	猿払村に戻ってきたい と思う意識割合 【高校生アンケート】	43.5%	60%	基本目標 2
イ	地域おこし協力隊の定 住数 【村の調査】	1 人	5 人	基本目標 2
ウ	合計特殊出生率	1.70	1.70	基本目標 3
ウ	出生数	25 人	25 人	基本目標 3
ウ	ワークショップ開催 (地域福祉計画)	1 回	1 回	基本目標 3
エ	猿払への居留意向 【高校生アンケート】	43.5%	60%	基本目標 4

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

## 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

### ① 事業の名称

猿払村まち・ひと・しごと創生推進計画事業

ア 猿払の産業の維持・発展により雇用を創出する事業

イ 猿払ならではの魅力を活かして、人を惹きつけ人を呼び込む事業

ウ 結婚・出産の希望をかなえ、猿払で安心して子育てができる環境をつくる事業

エ 村民だれもが猿払で豊かに暮らすことができる環境をつくる事業

### ② 事業の内容

ア 猿払の産業の維持・発展により雇用を創出する事業

村の基幹産業である水産業と酪農業を主軸として、1次産業の維持や拡大により安定した雇用を確保する。また、1次産業の産品を活用した新商品開発の調査研究、販路拡大などの展開を通して、村内での雇用を拡大する。さらには、村内での村民による起業や移住者による新規創業への支援や小規模多機能型居宅介護施設など介護福祉に関わる雇用、障がい者の雇用の拡大を図る事業。

#### 【具体的な施策・事業】

- ・ 地域水産物供給基盤整備事業
  - ・ 未来につなぐ森づくり推進事業
  - ・ 暮らし応援事業
  - ・ まちづくり人材育成事業（ふるさと産品推進事業）の活用
  - ・ 担い手への支援及びサポート
  - ・ IoT 推進構想の推進
- 等

イ 猿払ならではの魅力を活かして、人を惹きつけ人を呼び込む事業

猿払村の自然環境や食などを活かして魅力を発信しながら、行ってみたい、住んでみたいと思える村づくりを進める。ちょっと暮らしなどの体験機会を増やし、ファンから交流、さらには移住・定住につなげる。また、高校がないことから村の次世代を担う子どもの多くが中学卒業後に一度村を離れるため、高校や大学卒業後にも村に戻ってくるような意識醸成を図

る事業。

**【具体的な施策・事業】**

- ・ホームページ・SNSを活用した情報発信
- ・観光誘客促進事業
- ・移住相談窓口の取組
- ・まちづくり人材育成事業助成

等

**ウ 結婚・出産の希望をかなえ、猿払で安心して子育てができる環境をつくる事業**

村民の若い世代の結婚に対する障壁を軽減し、出会いの場づくりなど結婚につながる機会を増やし、結婚支援を行う。また、結婚後に子育てしやすい環境をつくることで出生率を高め、安心して子育てできる村づくりを進める事業。

**【具体的な施策・事業】**

- ・出会いの場づくり
- ・公園・遊具の充実
- ・音楽鑑賞機会の創出

等

**エ 村民だれもが猿払で豊かに暮らすことができる環境をつくる事業**

雇用や移住定住、出産・子育ての環境を整えるとともに、それらを支える暮らしの環境も重要であることから、村民誰もが安心して豊かに暮らし続けることができるような環境づくりを進める。住宅環境を整えることに加え、猿払村は広大な土地に集落が分散していることから、交通の利便性の向上や改善によって快適に暮らすことができるようにする。

また、子育て世代や高齢者が安心して暮らすための医療や福祉サービスの充実、さらには救急体制を整備する。また、豊かな暮らしに欠かせない村民同士の絆やつながりを深め、支え合いながら愛着を持って暮らすことができる環境をつくる事業。

**【具体的な施策・事業】**

- ・公営住宅の環境整備（新築・改修・除却）
- ・地方バス路線維持費補助金の継続
- ・病院施設の整備・営繕
- ・高齢者福祉施設等の整備
- ・自主防災組織の組織化の促進
- ・まちづくり懇談会の実施

等

※ なお、詳細は第2期猿払村まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

100,000千円（2020年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度6月頃、猿払村まち・ひと・しごと創生総合戦略策定審議会を開催し、外部有識者による効果検証を行い、来年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに猿払村公式WEBサイトで公表する。

⑥ 事業実施期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで

### 5-3 その他の事業

該当なし

## 6 計画期間

2020年4月1日から2025年3月31日まで